

企業担当者から事業内容について教わる生徒
(田辺市あけぼので)



進路選択の参考に

田辺工業高で企業説明会

田辺市あけぼのの田辺工業高校で6日、2年生や保護者を対象にした企業説明会があった。紀南地方の工業系企業などが事業内容を紹介し、生徒は進路選択に生かした。

物作りを支える人材育成を狙い、県内五つの工業高校で企業や経済団体などが協力して推進している昨年度からの取り組み「わかやま産業を支える人づくりプロジェクト」の一つ。このプロジェクトと

して田辺工業高校は技能検定の指導者派遣を受けたり、職場体験をしたりしている。

田辺工業高校の企業説明会は今回が初めてで、同校と県が主催した。工業用製品の製造販売や製鉄事業、活性炭の製造、ソフトウェアの開発などに携わっている7社が体育館にブースを並べた。生徒は希望のブースを回り、企業担当者から事業の内容や特徴、働いている人の姿などについて聞いた。

情報システム科の米谷亮太君(17)は「就職を希望している企業が参加していた。知らなかった製品や社員の育成の仕方について知ることができた」、電気電子科の前畑和希君(17)は「経営理念がしっかり決まっていて、どんな人材が欲しいかも分かり参考になった」、機械科の下平直輝君(16)は「前から気になる企業が参加していて、説明を聞いて興味が深まった」と話した。